



港区・明治学院大学 連携
チャレンジコミュニティ大学

令和2年度
【第14期】

申込みのしおり

申込期間

令和2年1月21日(火)～2月3日(月)

目次

| | |
|-------------------|----|
| ● チャレンジコミュニティ大学とは | 3 |
| チャレンジコミュニティ大学の概要図 | 4 |
| ● 申込方法 | 6 |
| ● 問い合わせ・申込書提出場所 | 6 |
| ● 申込資格 | 7 |
| ● 申込みから受講決定まで | 8 |
| ● 履修科目、授業内容 | 9 |
| ● 年間開講スケジュール | 10 |
| ● 担当講師 | 10 |
| ● スケジュール（詳細） | 11 |



チャレンジコミュニティ大学とは

① 開設の趣旨および概要

チャレンジコミュニティ大学は、高齢者や今後高齢期を迎える世代がいままで培ってきた知識・経験を地域に生かし、生きがいのある豊かな人生を創造し、また、学習を通じて、個々の能力を再開発することをめざしています。

さらに、高齢社会の充実のため、地域の活性化や地域コミュニティの育成の原動力として積極的に活躍していただく、地域活動のリーダーを養成することを目的としています。

大学での授業形態は、講義・体験学習・実地見学を基本としています。

授業内容は、社会福祉関係の分野を柱として構成されていますが、高齢者として必要な基礎知識が習得できるよう、幅広い授業内容となっています。

例えば、一般教養の法律分野は、高齢者に関わりの深い「相続や遺言」、悪徳商法などに騙されないよう「契約の心得」など、生活に身近な問題を取り上げて、法律関係を学ぶことができる内容となっています。

また、各自の地域福祉活動に役立つ科目として、ボランティア団体、福祉団体等の見学といった社会参加型の授業内容も組み込まれています。

健康増進の分野としては、健康づくりに役立つように、ストレッチ運動、ウォーキングなど高齢者に合った運動のしかた等について講義と実技を行います。

この他にも、教室を出て講師と一緒に美術鑑賞や音楽鑑賞、自然探索といった授業もあります。

また、1年間の締めくくりとして、宿泊研修（研究発表、意見交換など）を予定しています。

受講生は3つのグループに分かれ、本学教員が各グループアドバイザーとして必要な相談に応じます。

詳しくは、年間開講スケジュール（P10～P15）をご覧ください。

② チャレンジコミュニティ大学のしくみ

港区が区内にある明治学院大学に業務委託し、大学内に開設するものです。講師陣は、主に明治学院大学の教員等が担当します。

また、区や区内の地域団体や機関のしくみについては、地域で活動している団体や機関の代表者が担当します。

地域の大学と、地域で活動する団体や機関とが連携し、受講者が地域で活躍するための基盤を築くことができるように、積極的に支援するしくみとなっています。

なお、明治学院大学内にある多くの施設は、在学生と同様に利用できますので、若い学生とのふれあいを持つことが可能です。

例えば、図書館や食堂施設の利用などがあります。

大学のイメージ図は、P4～P5の「チャレンジコミュニティ大学の概要図」をご覧ください。

なお、この大学は、学校教育法に基づく学校ではありませんので、各種学割の適用や履修単位等の扱いはありません。

③ 修了後の活動について

修了後は、チャレンジコミュニティ大学の修了生を会員とする「チャレンジコミュニティ・クラブ」(CCクラブ)に登録していただきます。

CCクラブとは、チャレンジコミュニティ大学修了生の情報交換、資質の向上、地域活動の推進などを目的とした組織で、会員が自主的に運営しています。CCクラブ独自の活動として、会報誌の発行、自主学習会や講演会などを開催しています。会員は、各個人やグループ、地域単位で区・大学・NPO等との協働により地域で活動しています。また、区からの情報も、CCクラブを通して修了生に提供されます。

CCクラブ ホームページ

<http://www.minato-ccc.jp>



チャレンジコミュニティ大学の概要図 [イメージ]

区 民

- 60歳以上または民生委員・児童委員である
- 地域福祉の向上や地域社会の活動に関心がある

- 地域コミュニティの活性化に向け、団体、機関等へ積極的に参加
- NPO やボランティア団体等での活躍
- 地域防災組織など地域の安全・安心活動への参加



教室での講義



スポーツ実習

※学校教育法に基づく学校ではありません



チャレンジ コミュニティ大学

【目的】 地域活動のリーダー養成

- 受講期間は 1 年
- 受講生証を発行
- 社会参加、健康増進、一般教養等を講義、討議、実習等で学習
- 学 長 港区長
- 実施者 明治学院大学・港区

- 講義受講
- 討議学習、実習
- 校外授業
- 学生との交流
- 宿泊研修
- 校内施設利用

修了

「チャレンジコミュニティ・クラブ」
(CCクラブ) に登録

能力活用

明治学院大学

- 講 師
- 大学施設
- 事務局

運 営

港 区

- 講 師
- 課 題
- 情 報

- 区民参画組織等への参加
(区の委員会・地域タウン
フォーラム等)



港区講義 (本会議場見学)



校外授業 (自然探索)



音楽鑑賞 (演奏会)



宿泊研修

申込方法

1

申込書に必要事項をすべて記入してください。記入されていない事項がある申込書は無効とします。

チャレンジコミュニティ大学 申込書
第14期募集期間用紙

| 申込者 | |
|----------|--------------|
| 氏名 | 〒 区 町 丁目 番 号 |
| 住所 | |
| 電話番号 | |
| メールアドレス | |
| 性別 | |
| 年齢 | |
| 学歴 | |
| 職歴 | |
| 希望する職種 | |
| 希望する勤務地 | |
| 希望する勤務形態 | |
| 希望する給与 | |
| 希望する入社時期 | |
| 希望する入社時期 | |
| 希望する入社時期 | |

2

申込書を必ず募集期間内に、下記の申込書提出場所へ持参もしくは郵送でご提出ください。令和2年2月3日(月) 17時までに申込書提出場所に到着しなかったものは無効とします。

チャレンジ
コミュニティ大学
[第14期]
募集期間

令和2年
1月21日(火)~2月3日(月)17時必着
申込書を必ず期間内に持参または郵送でご提出ください。

問い合わせ・申込書提出場所

高輪地区総合支所 協働推進課 地区政策担当

〒108-8581 港区高輪1-16-25 高輪コミュニティーぷらざ4階

TEL 03-5421-7123

※地下鉄南北線、三田線白金高輪駅1番出口徒歩1分、ちいばす高輪ルート「高輪地区総合支所前」徒歩0分
※詳しい場所につきましては裏表紙の地図をご覧ください。

申込資格

申込みのできる人は、地域福祉の向上や、地域社会の活動に関心があり、修了後、地域で積極的に活躍する意欲のある人で、次の1～6の条件全てに該当する人です。なお、資格の確認ができない人の申込みは無効とします。

※特段の事情を除き、すでに受講されている人の再申込みはできません。詳しくはP6記載の高輪地区総合支所協働推進課にお問い合わせください。

① 港区民であること

- 入学時(令和2年4月11日(土)予定)、港区に住民登録のある人

※受講が決定しても、入学時に港区民でない場合は入学できません。

② 60歳以上または 民生委員・児童委員である

※令和2年3月31日までに60歳に達する人を含みます。

③ 原則としてお一人で 全課程を履修できる

- 課程にはスポーツ実習、徒歩での施設見学、校外でのウォーキング及び宿泊研修も含まれています。
- 大学内での移動は、階段を使用する場合があります。
- 部分的な履修はできません。

④ 修了後、地域福祉に貢献 する意欲がある

- 全課程の3分の2を履修された人に修了証

書を発行します。

- チャレンジコミュニティ大学の修了生を会員とする「チャレンジコミュニティ・クラブ」に登録していただきます。

⑤ 費用(教材費等)を 負担できる

- 受講者の自己負担額は2万円で、入学手続き時にお支払いいただきます。
- 納入後に受講できなくなった場合でも、返金はできません。

⑥ 個人情報の提供を承諾できる

- チャレンジコミュニティ大学の業務受託者である明治学院大学に、申込内容を提供します。

※なお、受託者は港区個人情報保護条例に基づいて、提供された個人情報を適切に取り扱い、本大学の運営目的以外には使用しません。

⑦ その他

- 公序良俗に反する場合や、大学からの諸注意・学内の諸規則等に従えない場合は、受講生としての身分を取り消すことがあります。

申込みから受講決定まで

申込期間

令和2年

1月21日(火)～2月3日(月)17時必着

申込書を必ず期間内に持参または郵送でご提出ください。

選考

選考委員会で決定いたします。

募集人数 60名

(60歳以上または民生委員・児童委員の人)

選考結果
の通知

選考結果（受講予定者）のお知らせは

令和2年

2月13日(木)頃に発送します。

健康診断

受講予定者となった人は、2月25日(火)または2月27日(木)に、区の健康診断(無料)を受診していただくか、健康診断書(※令和2年1月以降に受診したもの)を提出していただきます。

医師による確認後、正式決定となります。

受講決定
の通知

受講決定通知書は

令和2年

3月23日(月)頃に発送します。

入学手続きおよび入学式のご案内も同封します。

履修科目、授業内容

チャレンジコミュニティ大学の履修科目（カリキュラム）には、講義、校外授業（体験・見学・実習等）、宿泊研修があります。カリ

キュラムは大きく3つ（社会参加、健康増進、一般教養）に分類してあります。

社会参加

福祉・行政

「**社会参加**」は、地域活動をするにあたっての基礎知識などをテーマにした福祉と行政関連の授業です。地域社会の現状や課題、区の行政課題といった内容の講義が中心となりますが、これらの課題についての討議も行います。また、福祉施設の見学といったように地域に出る授業もあります。見学は、グループごとにバスで移動します。

健康増進

健康・スポーツ

「**健康増進**」は、生涯スポーツや校外授業など、健康の管理や増進をテーマにした授業です。内容は、テーマにそった講義と実際に体を動かす実習が中心となります。

また、秋の校外授業では自然探索（ウォーキング）も行います。現地へはバスで移動します。

一般教養

文学・芸術・経済・
社会・法律・
心理・環境

「**一般教養**」は、主に高齢者に身近な法律、社会経済事情、芸術などの教養をテーマにした授業です。内容は、講義が中心ですが、美術鑑賞や音楽鑑賞も行います。

年間開講スケジュール

授業は週1日を基本とし、原則水曜日の週と土曜日の週を繰り返して行います。その他、宿泊研修など、P11～P15のスケジュール（詳細）を参照してください。

7月中旬から9月中旬までは、夏期休暇になりますので、授業はありません。

やむを得ず休講になる場合は、別途、補講を設けることがあります。

授業時間

水曜日

1時限 9:15 ~ 10:45

2時限 10:55 ~ 12:25

土曜日

3時限 13:25 ~ 14:55

4時限 15:05 ~ 16:35

担当講師

チャレンジコミュニティ大学の講師は、明治学院大学の教員と港区の職員等です。中心となる講師は明治学院大学の教員等で、「社会参加」、「健康増進」、「一般教養」の分類を今後の生活や地域活動に役立つよう分かりやすく講義します。また、港区による授業では、テーマにそって区や関連団体の職員等が講義します。



スケジュール(詳細)

4月

| 日 | 曜日 | 時限 | 分野 | テーマ | 形態 | 講師 | 所属 |
|----|----|----|---------|---------------------------------------|----|-------|----------|
| 11 | 土 | 午後 | | 入学式、ガイダンス | | | |
| 15 | 水 | 1 | 福祉 | 地域福祉と住民参加① －地域・生活を見る目－ | 講義 | 河合克義 | 名誉教授 |
| 15 | 水 | 2 | 福祉 | 地域福祉と住民参加② －住民生活の実態と地域福祉活動－ | 講義 | 河合克義 | 名誉教授 |
| 22 | 水 | 1 | 福祉 | 高齢者福祉① －高齢者の実像－ | 講義 | 岡本多喜子 | 社会学部 |
| 22 | 水 | 2 | 文学 | 明治学院校歌を「読む」 | 講義 | 嶋田彩司 | 教養教育センター |
| 25 | 土 | 3 | 文学 | 日本の現代小説 | 講義 | 高橋源一郎 | 名誉教授 |
| 25 | 土 | 4 | 健康・スポーツ | 高齢者の健康と体力 －心とからだの元気づくり－ | 講義 | 亀ヶ谷純一 | 教養教育センター |

5月

| 日 | 曜日 | 時限 | 分野 | テーマ | 形態 | 講師 | 所属 |
|----|----|----|---------|---|----|-----------------|----------|
| 9 | 土 | 3 | 文学 | ボードレールとパリ大改造 －都市計画と芸術の関係について－ | 講義 | 畠山 達 | 文学部 |
| 9 | 土 | 4 | 福祉 | 高齢者福祉② －高齢者福祉の歴史と現在－ | 講義 | 岡本多喜子 | 社会学部 |
| 13 | 水 | 1 | 福祉 | 児童福祉① －児童虐待と社会的養護－ | 講義 | 三輪清子 | 社会学部 |
| 13 | 水 | 2 | 芸術 | 日本美術史を愉しむために | 講義 | 山下裕二 | 文学部 |
| 16 | 土 | 午後 | 芸術 | 日本美術史を愉しむために －見学－ | 見学 | 山下裕二 | 文学部 |
| 20 | 水 | 1 | 福祉 | 児童福祉② －社会的養護・里親養育－ | 講義 | 三輪清子 | 社会学部 |
| 20 | 水 | 2 | 健康・スポーツ | 運動処方入門 －自己の基礎体力を把握しよう－ | 実習 | 森田・黒川・ 杉崎・土屋 | 教養教育センター |
| 30 | 土 | 3 | 芸術 | 港区の風景と文化 －縄文時代から現代まで－ | 講義 | 巖谷國士 | 名誉教授 |
| 30 | 土 | 4 | 健康・スポーツ | 有酸素運動入門 －効果的で安全なウォーキング－ | 実習 | 杉崎範英 | 教養教育センター |

※授業スケジュールや授業内容・テーマ、講師等は予定であり、変更する場合があります。

6月

| 日 | 曜日 | 時限 | 分野 | テーマ | 形態 | 講師 | 所属 |
|----|----|----|-------------|--|----|-------|----------|
| 3 | 水 | 1 | 心理 | 老年期の心理 －生涯発達心理学の立場から－ | 講義 | 野村信威 | 心理学部 |
| 3 | 水 | 2 | 心理 | 認知症の理解とその予防 －認知症ケアの心理的アプローチ－ | 講義 | 野村信威 | 心理学部 |
| 6 | 土 | 午後 | 芸術 | 港区の風景と文化 －見学と散策－ | 見学 | 巖谷國士 | 名誉教授 |
| 10 | 水 | 1 | 経済 | 組織のリスク・マネジメント －長期存続のための経営とは－ | 講義 | 神田 良 | 経済学部 |
| 10 | 水 | 2 | 社会 | 医療技術を通して見る 生老病死と社会 | 講義 | 柘植あづみ | 社会学部 |
| 20 | 土 | 3 | 福祉 | 今日の貧困と社会福祉① －都市における貧困・孤立問題－ | 講義 | 金子 充 | 社会学部 |
| 20 | 土 | 4 | 福祉 | 現代社会と地域福祉 －地域包括ケアシステムを中心にして－ | 講義 | 和気康太 | 社会学部 |
| 24 | 水 | 1 | 福祉 | 福祉国家の再編とNPO・社会的企業 | 講義 | 米澤 且 | 社会学部 |
| 24 | 水 | 2 | 健康・ スポーツ | 心と身体のリフレッシュ(I) －暮らしの中でのからだづくり－ | 実習 | 亀ヶ谷純一 | 教養教育センター |

7月

| 日 | 曜日 | 時限 | 分野 | テーマ | 形態 | 講師 | 所属 |
|----|----|----|----|--|----|------|-------|
| 1 | 水 | 1 | 行政 | 港区のしくみと行政課題(その1) | 講義 | 港区 | |
| 1 | 水 | 2 | | | | | |
| 4 | 土 | 午後 | 福祉 | 施設見学(その1) Aグループ | 見学 | 清水浩一 | 名誉教授 |
| 4 | 土 | 午後 | 福祉 | 施設見学(その1) Bグループ | 見学 | 深谷美枝 | 社会学部 |
| 4 | 土 | 午後 | 福祉 | 施設見学(その1) Cグループ | 見学 | 耕田昭子 | 元社会学部 |
| 8 | 水 | 1 | 行政 | 港区のしくみと行政課題(その2) | 講義 | 港区 | |
| 8 | 水 | 2 | | | | | |
| 11 | 土 | 3 | 福祉 | 働く場・参加の場を創るNPO・ 社会的企業 | 講義 | 米澤 且 | 社会学部 |
| 11 | 土 | 4 | 福祉 | 今日の貧困と社会福祉② －貧困・孤立問題に政府・市民は何をすべきか－ | 講義 | 金子 充 | 社会学部 |

9月

| 日 | 曜日 | 時限 | 分野 | テーマ | 形態 | 講師 | 所属 |
|----|----|----|----|--|----|------|------|
| 19 | 土 | 午後 | | 春学期まとめの会 | | | |
| 23 | 水 | 1 | 福祉 | 精神障害と社会福祉① -日本の精神医療の歴史・現状・今後の課題、統合失調症を中心に- | 講義 | 村上雅昭 | 社会学部 |
| 23 | 水 | 2 | 福祉 | 精神障害と社会福祉② -日本の精神医療の歴史・現状・今後の課題、うつ病を中心に- | 講義 | 村上雅昭 | 社会学部 |
| 30 | 水 | 1 | 福祉 | 日本の社会保障のグローバル化対応 | 講義 | 岡 伸一 | 社会学部 |
| 30 | 水 | 2 | 福祉 | 社会保障の国際比較と国際社会保障政策 | 講義 | 岡 伸一 | 社会学部 |

10月

| 日 | 曜日 | 時限 | 分野 | テーマ | 形態 | 講師 | 所属 |
|----|----|----|---------|---|----|------|------------------|
| 3 | 土 | 3 | 福祉 | 変化する地域社会と民生委員活動 | 講義 | 榊原美樹 | 社会学部 |
| 3 | 土 | 4 | 健康・スポーツ | 医療覚醒 -医療のミッションは個々の患者へのブランドの提供！- | 講義 | 南淵明宏 | 昭和大学 横浜市北部病院 |
| 7 | 水 | 1 | 福祉 | 地域づくりと医療・健康(その1) -佐久総合病院のあゆみ- | 講義 | 河合克義 | 名誉教授 |
| 7 | 水 | 2 | 福祉 | 地域づくりと医療・健康(その2) -佐久地域の取り組み- | 講義 | 依田発夫 | 長野県高齢者 生活協同組合 |
| 17 | 土 | 3 | 福祉 | 特別支援教育を巡る状況 -障害と特別な教育的支援- | 講義 | 高倉誠一 | 社会学部 |
| 17 | 土 | 4 | 福祉 | ユニバーサルデザインと福祉機器 | 講義 | 花房昭彦 | 芝浦工業大学 |
| 21 | 水 | 1 | 経済 | 暮らしと税金 -国の借金と消費税・所得税・法人税の役割- | 講義 | 江川雅司 | 経済学部 |
| 21 | 水 | 2 | 健康・スポーツ | 運動不足によるからだの変化と運動 | 講義 | 森田恭光 | 教養教育センター |
| 28 | 水 | 1 | 行政 | 港区のしくみと行政課題(その3) | 講義 | 港区 | |
| 28 | 水 | 2 | | | | | |

※授業スケジュールや授業内容・テーマ、講師等は予定であり、変更する場合があります。

11月

| 日 | 曜日 | 時限 | 分野 | テーマ | 形態 | 講師 | 所属 |
|----|----|----|-------------|------------------------------------|----|---------------------|----------|
| 11 | 水 | 1 | 行政 | 港区のしくみと行政課題(その4) | 講義 | 港区 | |
| 11 | 水 | 2 | 福祉 | 現代社会の貧困にみる 社会的排除の諸相 | 講義 | 清水浩一 | 名誉教授 |
| 14 | 土 | 終日 | 健康・ スポーツ | 心と身体のリフレッシュ(Ⅱ) -自然探索とコミュニケーション- | 実習 | 亀ヶ谷・森田・ 黒川・杉崎・土屋 | 教養教育センター |
| 18 | 水 | 1 | 法律 | 高齢社会における信託の活用 | 講義 | 伊室亜希子 | 法学部 |
| 18 | 水 | 2 | 芸術 | バツハから現代へ | 講義 | 樋口隆一 | 名誉教授 |
| 28 | 土 | 夕方 | 芸術 | バツハから現代へ -鑑賞- | 鑑賞 | 樋口隆一 | 名誉教授 |

12月

| 日 | 曜日 | 時限 | 分野 | テーマ | 形態 | 講師 | 所属 |
|----|----|----|-------------|---|----|------|----------|
| 2 | 水 | 1 | 経済 | 日本型マーケティングの新展開 | 講義 | 池尾恭一 | 経済学部 |
| 2 | 水 | 2 | 法律 | 暮らしに役立つ民法 -日常生活・取引に関する法律問題(財産法)・ 家族に関する法律問題(夫婦・高齢者の財産 管理、相続・遺言等)-Q&A | 講義 | 今尾 真 | 法学部 |
| 5 | 土 | 午後 | 福祉 | 施設見学(その2) Aグループ | 見学 | 清水浩一 | 名誉教授 |
| 5 | 土 | 午後 | 福祉 | 施設見学(その2) Bグループ | 見学 | 深谷美枝 | 社会学部 |
| 5 | 土 | 午後 | 福祉 | 施設見学(その2) Cグループ | 見学 | 久保美紀 | 社会学部 |
| 12 | 土 | 3 | 法律 | 超高齢社会とワイン市場 | 講義 | 蛭原健介 | 法学部 |
| 12 | 土 | 4 | 健康・ スポーツ | 身体運動の仕組みと身体機能の 加齢性変化 -筋肉の機能を中心に- | 講義 | 黒川貞生 | 教養教育センター |

1月

| 日 | 曜日 | 時限 | 分野 | テーマ | 形態 | 講師 | 所属 |
|----|----|----|----|---|----|-------|-----------------|
| 9 | 土 | 3 | 福祉 | アクティブ・エイジング －延長した高齢期をどう過ごすのか－ | 講義 | 明石留美子 | 社会学部 |
| 9 | 土 | 4 | 環境 | 安全と安心の多様化 | 講義 | 藤川 賢 | 社会学部 |
| 13 | 水 | 1 | 福祉 | 社会福祉協議会とは －その歴史と性格－ | 講義 | 河合克義 | 名誉教授 |
| 13 | 水 | 2 | 福祉 | 住む人みんなで作る福祉のまち －もっとよく知ろう社会福祉協議会の活動－ | 講義 | 種石 進 | 元静岡市 社会福祉協議会 |
| 23 | 土 | 3 | 法律 | 知っておきたい成年後見制度 －判断能力減退後も自分らしく生きるために－ | 講義 | 黒田美亜紀 | 法学部 |
| 23 | 土 | 4 | 社会 | 硫黄島から東京と日本の近現代を考える －帝国・戦争・冷戦－ | 講義 | 石原 俊 | 社会学部 |
| 27 | 水 | 1 | 法律 | 身近な消費者問題 －消費者トラブル回避のために－ | 講義 | 大木 満 | 法学部 |
| 27 | 水 | 2 | 法律 | 映画にみる税金 －租税文化の一側面－ | 講義 | 渡邊 充 | 法学部 |

2月

| 日 | 曜日 | 時限 | 分野 | テーマ | 形態 | 講師 | 所属 |
|----------|--------|----|-------------|--|-----------|------|------------------------|
| 13 | 土 | 3 | 福祉 | 町内会・自治会と地域づくり －地域住民組織の新たな活動スタイルの模索－ | 講義 | 菅野道生 | 岩手県立大学 |
| 13 | 土 | 4 | 経済 | 統計的なものの見方 －身近な統計数値の読み方－ | 講義 | 西尾 敦 | 経済学部 |
| 17 | 水 | 1 | 福祉 | 西和賀町の生命尊重行政の歴史と今 | 講義 | 高橋典成 | NPO法人 輝け「いのち」ネットワーク |
| 17 | 水 | 2 | 健康・ スポーツ | 元気で動ける身体をめざして －高齢者における筋機能の重要性と筋肉づくり－ | 実習 | 黒川貞生 | 教養教育センター |
| 25 26 | 木 金 | 宿泊 | 福祉 | 地域課題発見の方法、地域組織化と 地域活動リーダーの役割 | 講義・ 討論 | 牧岡英夫 | 共育ひろば |

3月

| 日 | 曜日 | 時限 | 分野 | テーマ | 形態 | 講師 | 所属 |
|----|----|----|----|------------|----|----|----|
| 13 | 土 | 午後 | | 修了式 | | | |

※授業スケジュールや授業内容・テーマ、講師等は予定であり、変更する場合があります。



明治学院大学

事務局：総合企画室 社会連携課 港区白金台1-2-37 TEL 03-5421-5247



〈交通のご案内〉

品川駅高輪口から^(※)

都営バス「目黒駅前」行き乗車、「明治学院前」下車（乗車約6分）

目黒駅東口から

都営バス「大井競馬場前」行き乗車、「明治学院前」下車（乗車約6分）

白金台駅から

[地下鉄南北線、三田線] 2番出口（白金高輪側／エレベーター有）
1番出口（目黒側）より徒歩約7分

白金高輪駅から^(※)

[地下鉄南北線、三田線] 1番出口（目黒側／エレベーター有）より 徒歩約7分

高輪台駅から

[地下鉄浅草線] A2出口徒歩約7分

※品川駅、白金高輪駅、三田駅、田町駅の各駅からちいばす高輪ルート「高輪警察署前」下車（徒歩約3分）

〈問い合わせ先〉

高輪地区総合支所 協働推進課 地区政策担当

〒108-8581 港区高輪1-16-25 高輪コミュニティーぷらざ4階

TEL 03-5421-7123